

2024年度 ニチキッズ福島みなみ保育園 自己評価総括表

地域社会における保育施設として、その運営や保育内容について、自らの保育実践を振り返り、自己評価を行いましたので、その結果を以下の通り公表いたします。

また、本自己評価の結果を踏まえ、今後も更なる専門性の向上や保育実践の改善に努め、より一層質の高い保育の実践を目指してまいります。

評価方法		
保育士等（全職員）の自己評価	評価期間	2024年12月27日（木）～1月31日（金）
	実施方法	全職員に自己評価について趣旨を説明し自己評価を実施した。
保育施設の評価	評価日	2025年2月28日（金）
	実施方法	話し合いにより職場全体で共有し、保育施設の課題を明確化し、改善策を検討した。

項目ごとの評価	
保育理念	「おもいっきり遊ぶ おもいっきり学ぶ」の保育理念のもと、子ども一人一人に合わせて遊びや学びの経験ができるよう働きかけてきた。また常に全職員で一人ひとりに寄り添い成長を見守っていくことで、保育士との信頼関係も築く事ができた。様々な活動を通してそれぞれの専門性を活かし一丸となって保育活動へ繋げることができた。
子どもの発達援助	子どもの成長過程を日々話し合うことで、一人ひとりの発達を踏まえ養護と教育を一体化し配慮できた。子どもたちの置かれているその時の状況、環境に合わせて変化や感情を受け止め、温かく受け入れ適切な対応をしていく事が重要である。更に保育士、栄養士、調理員の各専門の特性を生かし、全職員で良いものにしていく必要がある。
保護者に対する支援	連絡帳、送迎時等、子どもたちを通して成長を共有したり、悩みを解消するよう寄り添うことができた。しかし日々の伝達や収集など細かい部分が不十分であった為、保護者の気持ちを受け止め信頼関係を築いていく事、伝え時には相手の理解を得られるように努めて行くことが必要である。
保育を支える組織的基盤	外部研修・内部研修の充実や職員会議や園内研修で保育に関わる知識や技術の向上に努めている。

総評
一人一人の置かれている状況や発達を理解し個別に関わることが出来たが、より一層、その場面に適した言葉がけができるようになっていくことが必要である。また成長過程を大切に、子どもたちの要求を満たしながら子どもの気持ちにより沿い、どのように関わるのが適切なのか全職員で検討し、家庭と連携と合わせて育ちを支えいきたい。